

メッセージで子どもたちを元気に

7月12日、大隅町の地域おこし月野会の会員11名が校区の小学生を元気づけようと、通学路のコンクリート壁に生えた苔を削り取り「きのうより今日 今日よりあした キバレ！」などと力強いメッセージを書きました。

会長の福岡等志さんは「子どもたちも新型コロナウイルスの影響を受けているのでメッセージを見て楽しい気分になってほしい」と話しました。



メッセージの前を下校する児童

P R大使を通じイランにマスクを寄付

7月8日、末吉町で輸入貿易業を行う株式会社WJTが来庁され不織布マスク2千枚の寄付をいただきました。これはイランの深刻なマスク不足を知ったP R大使の岩元みささんがマスクを募る呼び掛けに応じて寄付されたものです。

取締役の廣瀬孝幸さんは「岩元さんの活動に賛同し寄付を決めました」と話しました。このマスクは全て岩元さんへ贈られました。



株式会社WJTの廣瀬さん

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

高校生が地域の課題解決に向けて

曾於高校の文理科と普通科の1～2年生を対象に地域課題の解決・提案のため「総合探求」の授業が始まりました。7月16日には地域おこし協力隊や農家、移住者など10名が各分野の曾於市の課題について話す講演会が行われ、生の声を知る機会となりました。観光の課題について聞いた文理科2年の宮元健士朗さんは「曾於市の新しい観光のカタチを考えたい」と話しました。



地域の課題を講演する様子

人権擁護委員へ感謝状を伝達

7月15日、人権擁護委員の感謝状伝達式が行われ、任期満了で退任された永山たみ子さんへ感謝状が贈られました。

永山さんは3期（9年3ヶ月）の長きにわたり人権擁護委員として尽力されました。伝達式では法務大臣と法務省民事局長からの感謝状が贈られました。今後の永山さんの益々のご活躍をお祈りいたします。



人権擁護委員を退任された永山さん（中央）

38年の教育活動に瑞宝双光章

7月22日、末吉町諏訪方の稲留明さんに「瑞宝双光章」が伝達されました。

この章は公務等で長年にわたり職務をはたし、成績を挙げた方に内閣総理大臣から贈られる章です。

稲留さんは曾於市の小学校に長年勤務され、財部町立財部小学校長を最後に退職されました。その後も小学校指導教員を歴任され教職員として38年余り教育活動に尽力されました。



瑞宝双光章を受け取る稲留さん（右）

これからもおいしい給食を

7月16日、県学校給食センター連絡協議会永年勤続表彰を受けた財部学校給食センターの末平幸子さんが来庁されました。

末平さんは20年以上学校給食の調理に携わり、その勤務成績が良好であることから表彰されました。末平さんは「細心の注意を払いながら作る給食を子どもたちにおいしいと言ってもらえることが何よりも励みになります。」と話しました。



表彰を受けた末平さん（中央）

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

令和2年度第1回目の枝肉共励会開催

8月5日に(株)ナンチュにて令和2年度第1回曾於市肉牛枝肉共励会が開催され、曾於市内の肥育農家から51頭(和牛去勢44頭、和牛雌7頭)が出品されました。最優秀賞一席市長賞に輝いたのは財部町の片蓋廣志さん出品牛(父:喜亀忠、祖父:安福久、祖々父:金幸)で格付はA-5、BMS(脂肪交雑)No.12、枝肉重量554.3kg、ロース芯面積106cm²の素晴らしい枝肉でした。

今回の成績

最優秀賞一席「市長賞」
片蓋廣志(財部町)

最優秀賞二席
(株)加治佐畜産(末吉町)

最優秀賞三席
片蓋廣志(財部町)



最優秀賞一席の枝肉

創業地へ地域振興のために寄付

7月31日、建設・土木業などを行う株式会社渡辺組が来庁され、地域振興に役立ててほしいと一千万円の寄付をいただきました。

株式会社渡辺組は今年で創業70周年を迎えており、渡辺紘三副社長(現取締役副会長)は「曾於市は創業の地であり、地元で育てられて創業70周年を迎えることができた。若い人や青少年の育成のために使ってほしい」と話しました。



(株)渡辺組の渡辺取締役副会長